

スポーツの力で地域を支援し、地域とともに強くなる。

2026.2.27

(株)湘南ベルマーレフットサルクラブ



# INDEX

① 自己紹介

② 地域課題

③ 実証内容

④ 現状課題・今後に向けて

# INDEX

① 自己紹介

② 地域課題

③ 実証内容

④ 現状課題・今後に向けて



# 湘南ベルマーレ フットサルクラブ

運営法人 株式会社湘南ベルマーレフットサルクラブ

所在地 小田原市栄町2丁目7-25 B1階

ホームタウン 神奈川県西地域（3市8町）

所属 日本フットサルリーグ（フリーグ）1部

本拠地 小田原アリーナ

エンブレム



FUTSAL  
*Bellmare*



スポーツを通じて、  
機会をつくり  
チカラを引き出す。

Chance & Empowerment



我々は  
アイデアやノウハウ、ブランド  
も含めて「**知的財産**」を保有  
していることが価値。

事業

人材



競技で日本一、アジア王者を目指すと同時に、神奈川県内屈指のアリーナエンタメの実現、そして地域に必要とされる存在になることを目指しています。

## 競技性

5位

8位

6位


**F.LEAGUE**

リーグ優勝


 AFC  
FUTSAL CLUB  
CHAMPIONSHIP

アジア王者

## 事業性

\*HG年間のべ  
観客動員数

15,602

13,998

12,890

25,000

30,000

## 社会性

\*実行プロジェクト数

10

27

40

80  
(現在44)

160



FUTSAL

# 3つの特徴

## 【1】130社を超えるパートナー企業数

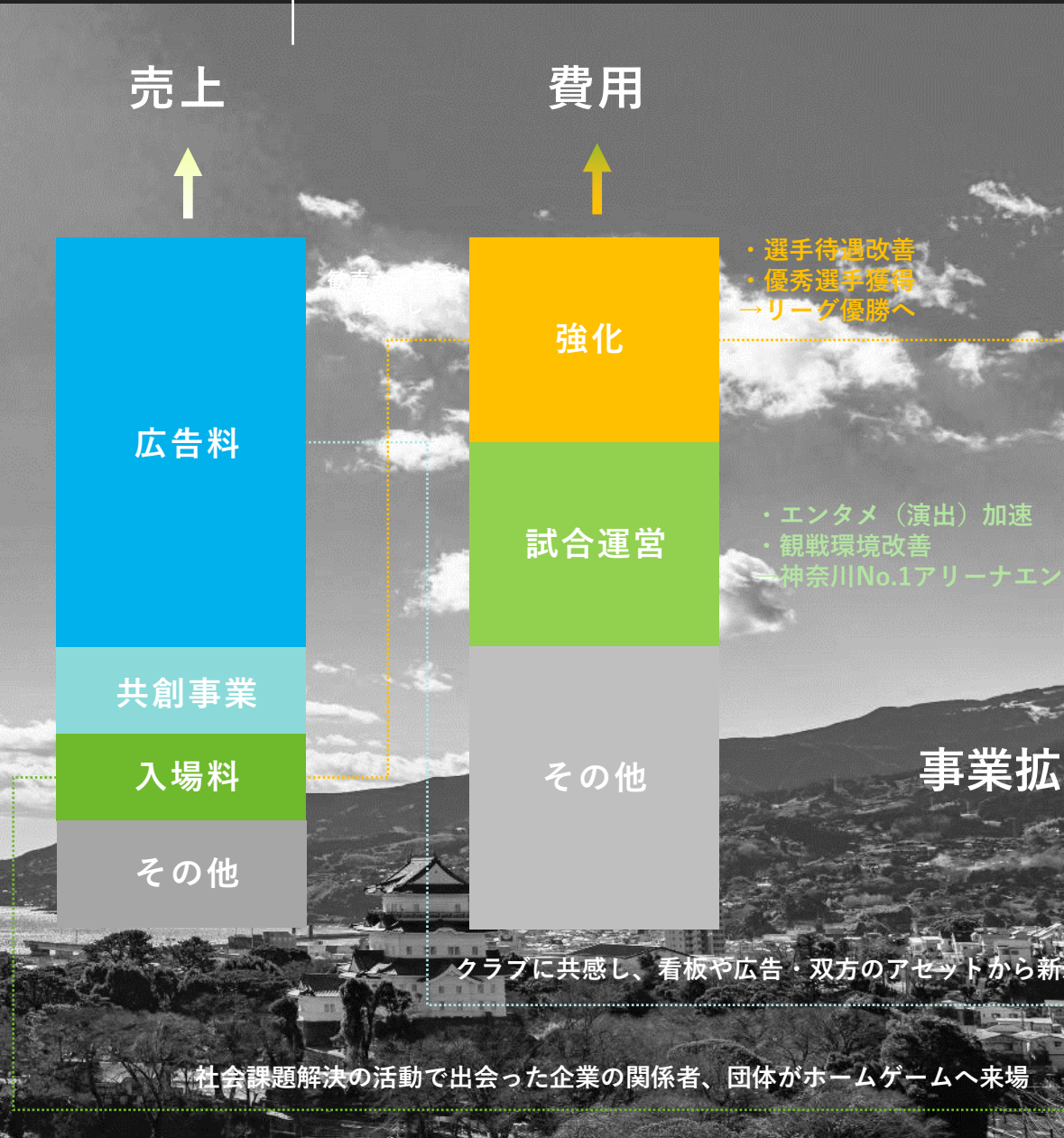
クラブ創設から18年。地域に根ざしたスポーツクラブとして、域内外130社を超えるパートナー企業と強固な関係性を構築。多様な業種との連携により、地域課題解決の基盤を形成しています。

## 【2】地域課題解決と競技力向上の両立経営

社会性と競技性を一体化させた経営を推進。課題解決の取組がクラブの成長につながり、競技力強化と地域活性化を同時に実現するモデルを確立しています。  
 (2022年度イノベーションリーグ大賞受賞 / R6年度ローカルゼブラ実証事業採択他)

## 【3】44もの社会課題解決プロジェクト実行

これまでに44件の社会課題解決プロジェクトを展開。教育、環境、女性活躍など多様なテーマで成果を上げ、地域に持続的な変化を生み出してきました。



プレミアムパートナー



トップパートナー



Chance&Empowerment パートナー



オフィシャルパートナー



サプライヤー



オフィシャルリカバリーウェアサプライヤー



アシストパートナー

株式会社ミヤケ電池サービス テクノプラン ファースト 株式会社関野建設 FM小田原株式会社 株式会社アーバイン  
株式会社高瀬土建 彩酒亭洞 早雲法律事務所 BeClean株式会社 株式会社秋山設計 化学印刷株式会社 FEALDS  
有限会社瀬戸造建 有限会社小田原ドライブングスクール 赤帽ハビネスカーゴ 株式会社東海設備工業 横浜銀行小田原支店  
宗教法人善福寺 小田原鉱石株式会社 足柄テントサウナ ワインパルトロワ 池谷建築

# INDEX

① 自己紹介

② 地域課題

③ 実証内容

④ 現状課題・今後に向けて

# ローカルゼブラ企業の社会的価値創出を“見える化・資金化・人材化”するための基盤整備に向けた取り組みや準備を実施してきた

## 1 地域課題

- 地域で価値ある取り組みが行政・事業者・学生などに十分伝わらず、理解・協力が得られない。外部への発信力も弱く、活動の広がりや共創が進みにくい
- 層を超えた連携が不足していることから、コミュニティが分断され、若者の参加・人材育成・資金やアセットの循環が停滞している

## 2 実証内容

- 1. SI経営塾**
  - インパクトレポート作成支援
- 2. 地域の人事部**
  - インパクトレポートを活用した人材調達支援制度の構築
- 3. SIスポンサー制度**
  - 仕組みの持続化に向けた新たな収益源の確保
- 4. ソーシャル預金制度**
  - 小田原版ソーシャル預金構想の実現に向けた調整（さがみ信金）

## 3 成果・気づき

- 1. SI経営塾**
  - インパクトを可視化することで各社に意義や価値を見出すことができているが、企業の業態や規模によってインパクトレポートの内容は検討する必要がある（出す出さないも含め）
- 2. 地域の人事部**
  - 個別の取り組み（点）ではなく、全体構想（面）として捉え直す方向性を整理できた
- 3. SIスポンサー制度**
  - 各社への提案において、感触は一定あり、企業の経営課題や社会貢献ニーズに合致した提案ができるようになった
- 4. ソーシャル預金制度**
  - 経営塾等で作成した「インパクトレポート」を、金融機関が融資判断や関連投資の材料として活用できる可能性が見えている

### 地域の課題

- ✓ 人口減少と少子高齢化
- ✓ 産業基盤の脆弱性
- ✓ 地域コミュニティの分断

### 現状

- ✓ 価値ある取り組みが行政・事業者・学生へ十分に伝わっていない。
- ✓ 世代や立場を超えた連携が不足し、コミュニティが孤立している。

### 要因

### その結果

- ✓ 外部の理解が得られず、共創や活動の拡大が停滞している。
- ✓ 若手育成や資金・アセットの循環が生まれず、持続可能性が欠如している。

課題解決に向けた取り組みは存在するものの、単発的にとどまっており、各企業の具体的な成果の測定や可視化が十分に行われていない。



「点」から「面」へ。地域資本のポテンシャルを連結させる。  
個々の課題を群として捉え横断的に取り組める仕組みが必要。

スポーツクラブは準公共性が高く、多様なステークホルダーとの関係性が深いことから  
地域共創のハブとなり地域内外のゼブラ企業を横断的に支援することが可能



### ①地域共創のハブとしての機能

深い関係性が既に構築できていることから、湘南ベルマーレが地域内のハブとなり、各事案に対して実効性の高い連携が可能

### ②ゼブラ企業のコミュニティ形成

既存の関係性を活かしてゼブラ企業同士をつなぎ、組織の枠を超えた共創コミュニティの形成が可能

# INDEX

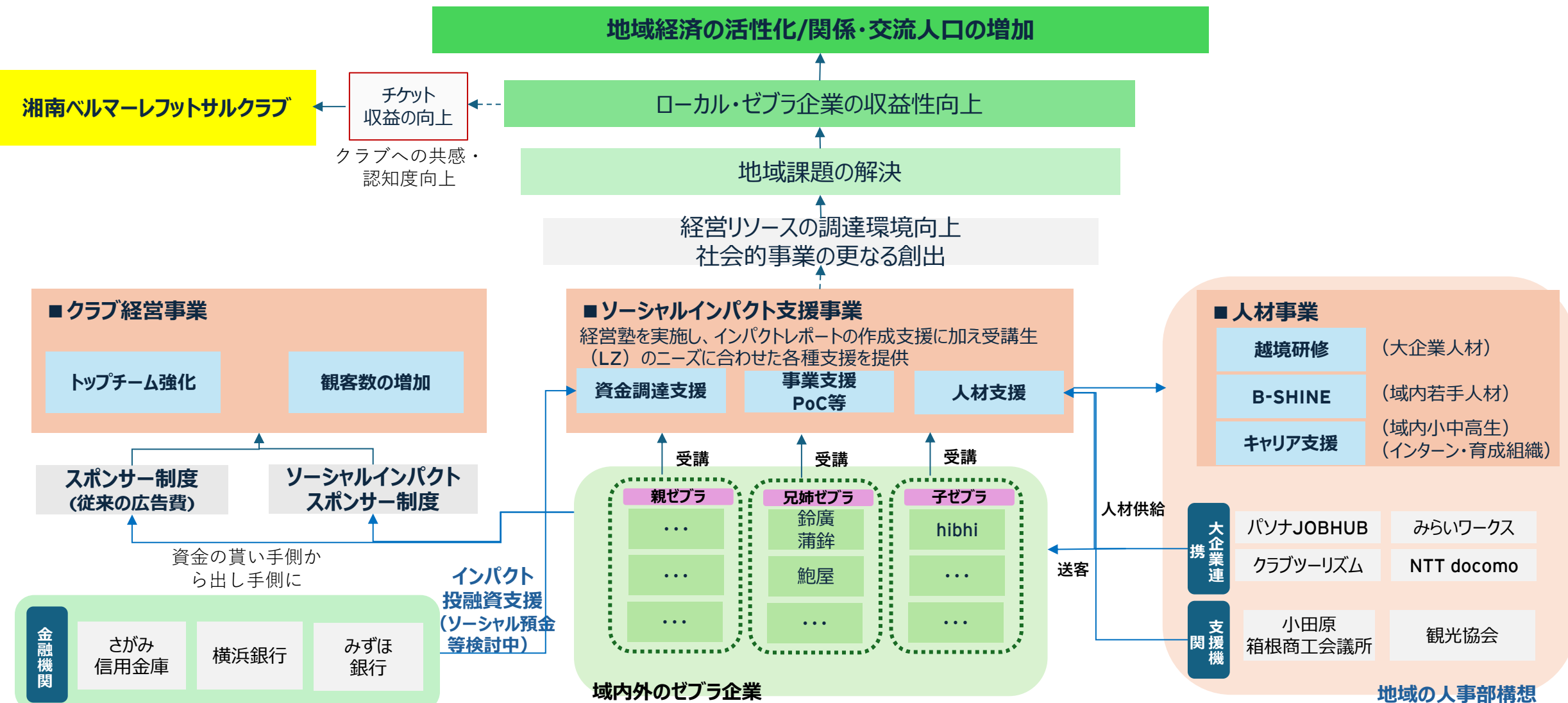
① 自己紹介

② 地域課題

③ 実証内容

④ 現状課題・今後に向けて

ローカル・ゼブラ企業の社会的価値創出を“見える化・資金化・人材化”するための基盤整備を行い、  
社会的事業のさらなる創出やローカル・ゼブラ企業の収益性の向上に寄与することで、クラブへの共感・認知度向上につながる



本事業では、スポーツクラブを核に多様なステークホルダーがつながり、新たな価値を生む循環型エコシステムの実現に挑戦。  
3つの取組を通じ、課題解決と競技力向上を同時に進め、地域から全国へ広がる未来を創出します。

## 事業 1

### CSV型事業支援 スキームの構築



ローカル・ゼブラ企業の戦略力を強化するため、**ソーシャルインパクト経営塾**を開講し、社会性と経済性を両立する事業モデルの確立を支援します。

## 事業 2

### 地域事業づくり会社の マネタイズモデル確立



**ソーシャルインパクトスポンサー制度**を創設し、企業が社会課題解決プロジェクトに参画しやすい仕組みを提供。新たな資金循環とステークホルダー連携を生み出します。

## 事業 3

### スポーツクラブをハブとした 企業の人的資本経営推進の検討



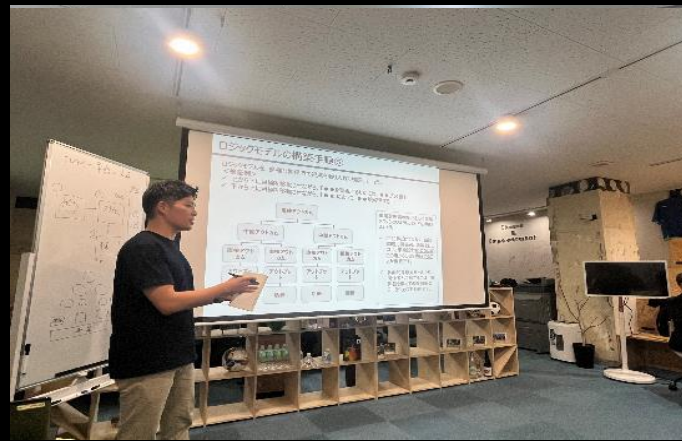
地域企業の人材採用・育成・環境整備における関係者が一体となった面的支援を行うことで、更なる地域内外の人や企業が繋がる体制の構築を検討します。**(=地域の人事部構想)**

## 全5回のプログラムと大企業群の伴走支援によりLZ企業のインパクトの可視化を実施

第1回：報徳仕法とゼブラの相関性



第2回：インパクトマネジメント



第3回：ロジックモデル作成ワーク



第4回：ロジックモデル・事業の見直し



第5回：インパクトレポートの作成・検討



兄ゼブラ



株式会社鈴廣蒲鉾本店(創業161年)



兄ゼブラ



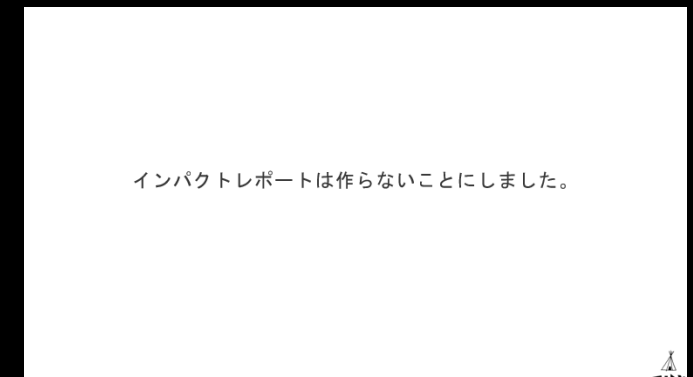
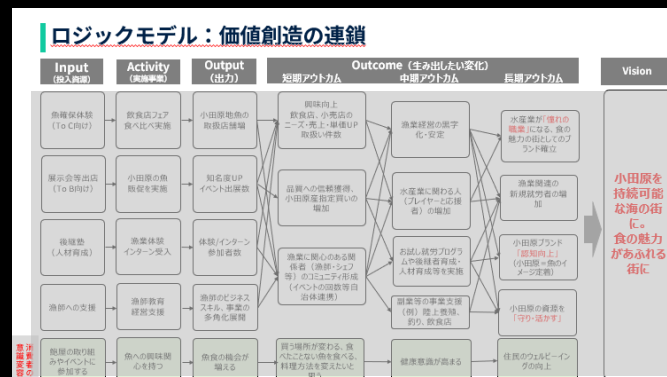
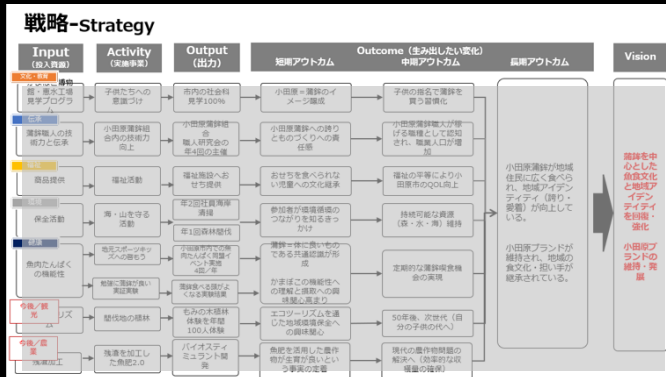
株式会社鮑屋 (創業439年)



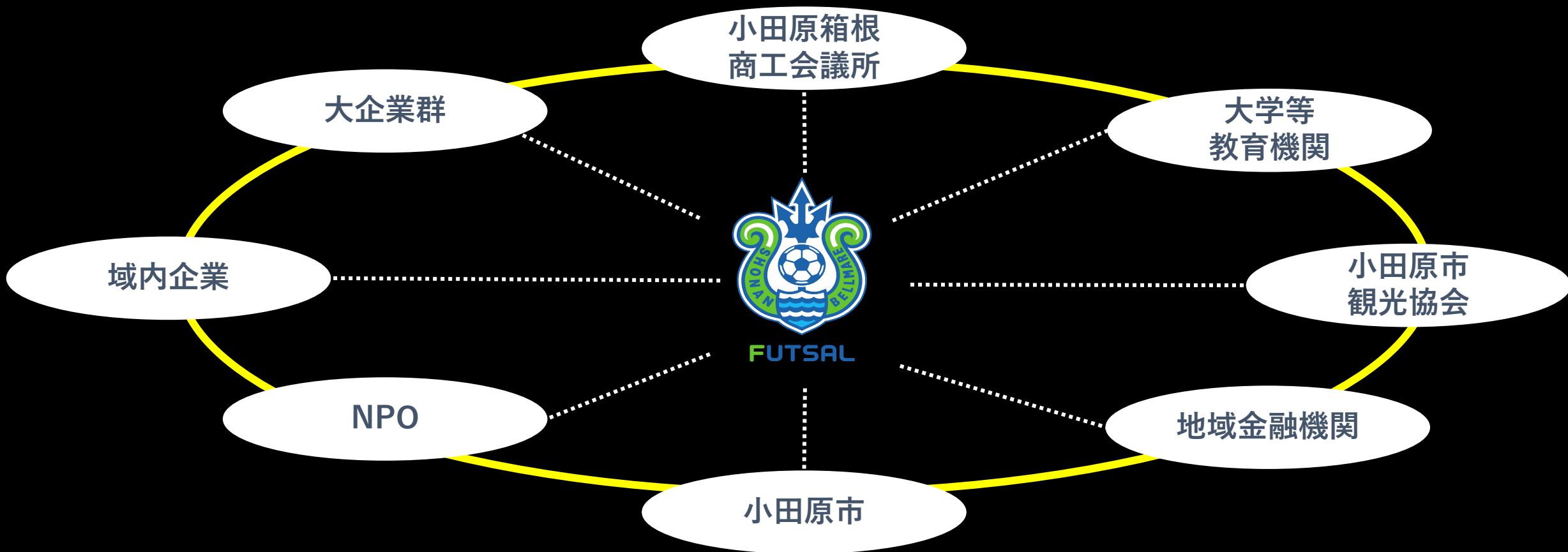
子ゼブラ



合同会社hibhi.



経営者や企業の「想い」や「インパクトの可視化」は、域内外パートナーの参画を促すレバレッジになり、より共感を生むことに繋がっている。



地域の人材支援を繋ぐハブとしてクラブの信頼を還元し、各社が行う人材支援の取り組みを「面」へと進化させることで、温かな関係性から生まれる質の高いマッチングを小田原で実装する。

## 地域の人事部構想を通して、ローカルゼブラ企業との共創・参画機能の体制を整備

## 湘南ベルマーレFC

- 若手層へのリーチ・求心力
- インターン・B-Spark
- B-SHINE研修
- セカンドキャリア支援

## 小田原箱根商工会議所

- 地域企業ネットワーク
- 合同説明会・若手顕彰
- 補助金申請の主体
- リカレント・DX支援

地域の人事部  
の体制構築

## パソナJOBHUB（伴走）

- 体制・財源の設計
- 補助金活用支援
- 人事部の体制構築
- 専門家コーディネート

## 小田原市（行政）

- 地域の人事部関連の支援制度の検討
- 国関連の資金調達を実施
- UIJターン・就職支援
- 起業・創業支援

## 現時点での小田原地域における人材支援サービス一覧（2026年3月時点）

カテゴリー	小田原箱根商工会議所	湘南ベルマーレフットサルクラブ	その他民間事業者	小田原市（行政）
<b>採用支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西湘地区就職面接会</li> <li>・合同企業説明会</li> <li>・求人情報の広報掲載</li> <li>・副業人材活用</li> <li>・事業承継マッチング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ：50名</li> <li>※UMITTOと連携</li> <li>・B-Spark：みらいワークス連携。プロボノ48名マッチング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク湘南（UMITO）、</li> <li>・テクノス（職種特化人材派遣・紹介）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金返還代理返還制度（JASSO連動）</li> <li>・UIターン促進Instagram運営、</li> <li>・ジョブスタディ</li> </ul>
<b>人材育成</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でがんばる若手顕彰</li> <li>・リカレントスクール</li> <li>・健康経営導入支援</li> <li>・各種検定案内</li> <li>・経営指導員によるキャリアカウンセリング指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成組織（ロンドリーナ）：小学生～大人</li> <li>・トップチーム：セカンドキャリア支援</li> <li>→アスリートキャリアからトータルキャリア支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレイン・スタッフ（人事コンサル・幹部教育）</li> <li>・トゥルース（接客・マネジメント研修）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働講座（動画・対面）</li> <li>・インターンシップ受け入れ、</li> <li>・STEAM教育支援</li> </ul>
<b>環境整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原政労使フォーラム（環境改善対話）</li> <li>・共済制度の提供</li> <li>・労働保険事務組合</li> <li>・合同入社式、同期会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B-SHINE：地域企業向け研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ARUYO/OdaWork</li> <li>・SOLIO（多様なワークスペース）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労者サービスセンター（スマイル小田原）</li> <li>・外国人労働相談</li> <li>・女性活躍アドバイザー派遣</li> </ul>
<b>DX支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX取組支援（アドバイザー派遣、セミナー）</li> <li>・事業承継マッチング</li> <li>・パソコンスクール</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITツール導入支援、</li> <li>・クラウドファンディング活用支援（おだわら若者応援等）</li> </ul>	デジタル関連企業集積補助金（最大8,000万円）、オフィス開設支援

## &lt; 企業の声 &gt;

## ソーシャルインパクトスポンサー 制度概要

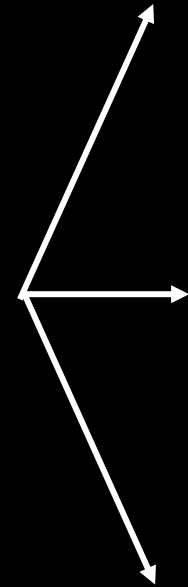
### ・ 支援内容

- ①企業の社会的インパクトの可視化
- ②インパクト戦略に紐づく、事業・人材・資金獲得支援

・ 企業への提案活動：セールスシート及びインパクトレポートを通して企業へ提案

・ 収入モデル：スポンサー費用（数十万～数百万を想定）

※支援のボリュームによって変動



小田原市内  
老舗企業

今までは、地域における取り組みを周りにひけらかすことはあまりやってこなかったが、今後、地域全体で発信するのはありかもしれない。

小田原市内  
中堅企業

CSR活動はやってきており、インパクトの可視化することには意味や意義を感じており、どこに活用・発信するのか。そこに対してお金を出してほしい。

小田原市内  
スタートアップ企業

今までは都内企業との協業を中心に行っていたが、これからは小田原企業と連携して事業拡大を図っていきたい

地域へのインパクトの可視化、自社の採用・ブランディングへの活用に関心が高いことが確認された

既存の融資における財務評価に加え、インパクトレポートで可視化された「非財務（社会価値）情報」を補完的な評価ポイントとして活用できないかを検討してきた。



今後はさがみ信用金庫と連携し、インパクトレポートのさらなる磨き上げを進めていく。

# INDEX

① 自己紹介

② 地域課題

③ 実証内容

④ 現状課題・今後に向けて

## 実証内容

## 現状の課題

## 今後の方策

ソーシャルインパクト  
経営塾

経営塾の事業化・持続化に向けて、  
必要な運営人員や資金調達等の体  
制が整っていない

外部連携も踏まえた事務局機能の体  
制を検討しつつ、自治体補助金や民  
間企業からのマネタイズを構築

ソーシャルインパクト  
スポンサー制度

スポンサー営業を行っているのが  
実質社長と営業担当1名のみで、裾  
野が広がっていきにくい

汎用のセールスシートを作成し、  
既存スポンサー企業やパートナー企  
業等からの紹介機能の拡充

地域の人事部体制構築

各支援機関毎で支援は行われてい  
るが、連携した取り組みができて  
いない

支援機関同士の情報共有プラット  
フォームを設置し、情報連携や窓口  
機能を設け、小田原でワンストップ  
で人材支援体制を構築

ソーシャル預金制度  
(地域金融機関)

地域企業の実態に合った投融資制  
度が開発できていない、もしくは  
開発できても導入されていない

インパクトレポートを活用した投融  
資関連サービスの開発と、ローカル  
ゼブラ企業の活用事例の創出

「人」に依存した状態から「仕組み」で回る状態への移行。  
「点」の支援を「線や面」にするための、連携のハブ機能を作る。

スポーツを通じて、機会をつくり  
チカラを引き出す。

Chance & Empowerment

End Of File

FUTSAL  
*Bellmare*